



新型コロナウイルス感染症対策

# 新型コロナウイルス感染症対応地方創生 臨時交付金について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金とは



新型コロナウイルス感染症対応に奔走する地方公共団体の取組を内閣府が支援するために令和2年度に創設し、今年度で3年目になる。



本交付金は、新型コロナウイルス感染症対応の事業に使用することができる。

## 地方創生臨時交付金の概要（門真市）

### 令和2年度

交付決定額

15億3,829万4千円

交付対象経費

15億5,944万7千円

### 令和3年度

交付決定額

6億3,602万7千円

交付対象経費

7億8,756万1千円

☞ 本委員会での  
検証対象

### 令和4年度

交付限度額

8億1,951万1千円

実施計画

提出に向け検討中

# 令和3年度の門真市の対象事業について

**取組主旨**：門真市では、新しい生活様式を定着させ、感染拡大防止と経済再生の両立を図っていく「ウィズコロナ」及び「ポストコロナ」の観点を踏まえ、市民のいのちと暮らしを守り抜くため、総合的な取組を実施

**事業数**：63事業（評価対象事業：52事業、対象外事業：11事業）

※評価対象事業：門真市第6次総合計画の事業評価の対象となる事業

## 事業内容（主な取組事業を抜粋）

○中小企業者事業継続支援金給付事業（交付対象経費：2億40万円）

新型コロナウイルス感染症が流行し、多くの事業者がその影響を受け、事業活動に支障が生じている市内の中小企業等（中小法人等・個人事業主）のうち、国の月次支援金の対象とならない者に対して、事業の継続及び立て直しのための取組を支援するために、門真市中小企業者事業継続支援金を給付した。

○高齢者おでかけ応援事業（交付対象経費：1億9899万円）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた65歳以上の高齢者に対し5,000円分のギフト券を送付し生活への直接支援を図るとともに、9割の高齢者がワクチン接種を終えたタイミングで家に閉じこもりがちになっていた高齢者が買物等に出かけるきっかけとすることで、高齢者の健康増進を図った。

○自宅療養者等支援事業（交付対象経費：5,558万円）

新型コロナウイルス感染症により、自宅療養する者に対し、食料品及び日用品（支援セット）の調達及び配達を行うことにより、外出することなく自宅療養に専念し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。



○G I G Aスクール構想推進事業（交付対象経費：4,535万円）

令和元年度より進められているG I G Aスクール構想推進事業について、これまで整備した一人一台PC、AIドリルを効果的に活用し、すべての学校で緊急時のオンライン授業を実施するなど、教育活動をさらに充実した。



○中学校施設整備事業（交付対象経費：3,333万円）

「学校の新しい生活様式」では常時、換気を行うことが求められており、熱中症対策はもとより防寒対策に寄与する空調設備を中学校の体育館に設置した。

○公園等環境美化推進事業（交付対象経費：2,935万円）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、離職を余儀なくされた失業者等を雇用し、公園等利用者の安全・安心の確保及び公園等施設の保護・保全、景観の向上を図り、良好な環境を保持するため、公園等敷地内の除草及び清掃や周辺の側溝及び集水桝の汚泥清掃を行った。



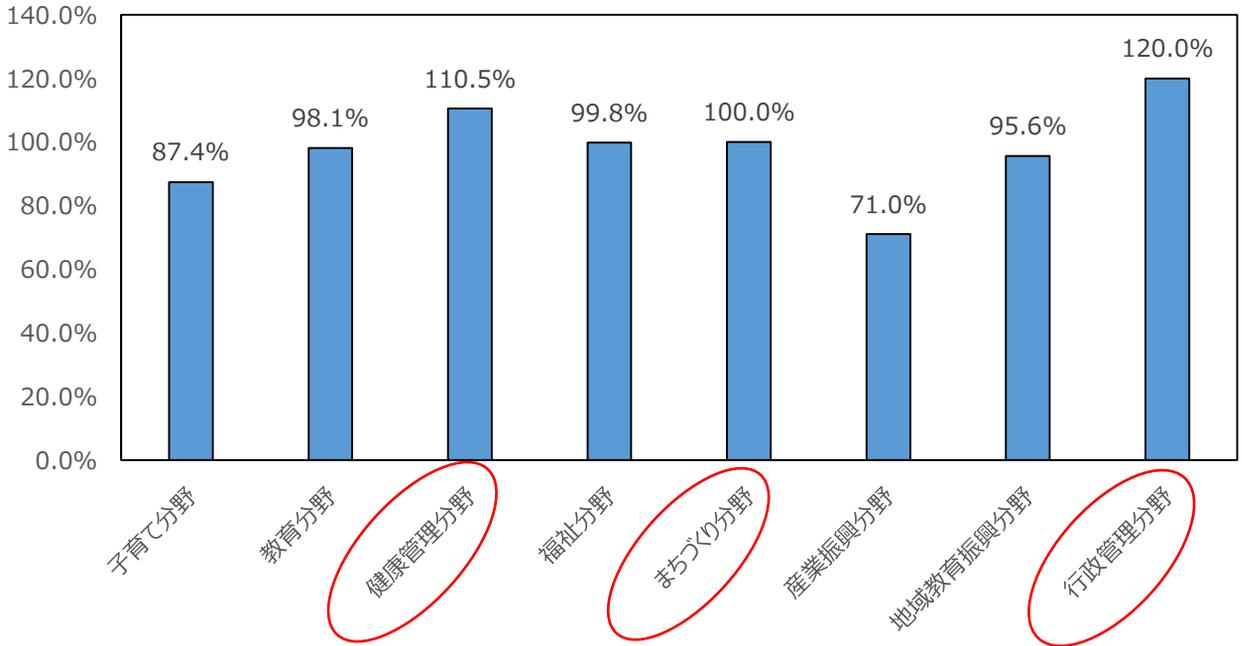
# 事業結果及び事業検証について

## 事業結果

事業開始時に活動指標を設定した事業は**35事業**あり、その活動指標の目標値を達成した事業は、**22事業**であった。

分野別では、**3分野**において目標を達成した。

事業実績及び事業効果を資料6にまとめた。



## 事業検証

施設等へ消毒液やマスク、アクリル板等の感染症対策における備品を購入した事業は、**11事業**あり、より安心・安全な施設の事業運営に向けた環境整備ができた。

自宅療養者等支援事業では、事業実施の時期も適切で、感染拡大を受けて医療提供体制が逼迫するなかで急増した自宅療養者に対し、陽性者が外出することなく自宅療養に専念でき、感染症拡大防止に寄与できた。

また、高齢者おでかけ応援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、高齢者への生活支援につながり、市民から高評価をいただいた。

事業の効果としては、感染症拡大防止に寄与し、市民の生活支援につながった。